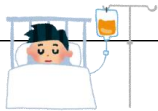


経過	入院日～手術前日 (/)	手術当日（手術前） (/)	手術当日（手術後）
食事	・食事は一般食か治療食です ・手術前日の夕食後から食べたりできません ・手術前日の夕食後から水分以外は飲んだりできません	・食事は食べられません ・麻酔科医師の指示時間まで水分を摂ってください	・状態により、手術の2時間後より水が飲めます
手術・処置	・痛みが強い時にはお薬を使用します 	・時計・メガネ・入れ歯などを外します（感電予防のため） ・看護師が手術室までご案内します ・手術準備のため、留置針を入れることがあります ・規定量の水分が摂れない場合は、点滴を行います 	・心電図モニターを付けます ・酸素を吸入します（医師の指示があるまで） ・フットポンプを装着します（血栓予防のため） ・貧血の強い場合には輸血を行います ・翌朝まで点滴を行います ・抗生物質の点滴を行います
検査	・手術を行うために、必要な検査をします（血液検査・心電図・レントゲン） ・必要に応じて整形外科以外の診察があります		・体温・血圧・脈拍などを測ります ・手術後手術室でレントゲン撮影があります ・血液検査
薬	・内服中のお薬があれば、看護師にお渡しください ・お薬手帳をお持ちの方は、入院時にご持参ください ・中止薬のある方は、医師の指示に従ってください	・麻酔科医師の指示で内服薬の調整をします	・痛みが強い時にはお薬を使用します 
指導・説明	・担当医師より手術の説明と、退院に向けての説明があります ・入院生活と手術前後の予定について説明があります ・麻酔科医師の診察があります ・薬剤師からのお薬の説明があります ・集中治療室の看護師が訪問します ・必要時ソーシャルワーカーの面談があります	・痛みが強い時にはお知らせください ・手術後はHCU又はリハビリ室への帰室となります※ご家族の方へ - 手術終了後、医師からの説明がありますので、面会室又はお部屋でお待ちください	
安静度	・ベッド上安静です（人工骨頭置換術の方は車椅子に乗れます） ・痛みに応じてベッドアップができます		・ベッド上安静です（状態により車椅子に乗れます） ・痛みに応じてベッドアップができます
清潔	・タオルで体を拭きます ・手術前に介助でシャワー浴を行います ・爪を短く切ってください	・歯磨きを行います 	
排泄	・必要時尿の管を入れます		・尿の管は入ったままです
目標	・手術に備えて体と心の準備をしましょう ・痛みや辛い症状があればスタッフに伝えましょう ・転んだりせず、安全に入院生活を送りましょう ・股関節の痛み・運動制限の改善に対して手術を行います		・痛みや辛い症状があればスタッフに伝えましょう ・心身ともに十分な休息を取りましょう ・転んだりせず、安全に入院生活を送りましょう 

大腿骨頸部骨折の治療を受ける方へ

No. 2

経過	術後 1 ～ 2 日目 (/) ～ (/)	術後 3 ～ 7 日目 (/) ～ (/)	術後 8 ～ 1 4 日目 (/) ～ (/)
食事	・手術後1日目の朝からお粥が開始となります ・手術後2日目の朝から元の食事に戻ります ※治療食の方は医師の指示により再開します 		
手術・処置	・手術後2日間、抗生物質の点滴を行います ・貧血が強い時には輸血をします ・リハビリ室でリハビリを開始します	・抜糸は手術後7日目に行います ・リハビリを行います	・自宅又は施設へ退院できます ※退院日は症状により医師が決定します
検査	・手術後1日目に血液検査があります ・手術後1日目にレントゲン撮影があります ・離床前に下肢エコーがあります（血栓の確認）	・手術後3日目に血液検査があります	・手術後10日目に血液検査があります ・手術後10日目にレントゲン撮影があります
薬	・痛みの強い時には痛み止めの薬を使用します（痛みの強い時はお知らせください）		
指導・説明	・理学療法士よりリハビリについて説明があります		・退院オリエンテーション ・退院前に看護師から説明があります ・必要時ソーシャルワーカーの説明があります
安静度	・基本的には足を動かすことに制限はありません ・車椅子に乗ります（移動が上手くできるまではお手伝いします） ・寝返りが出来ない場合はお手伝いします	・安静の制限はありません ・医師の指示により制限がある場合があります ・リハビリの状況により補助具を使用します 	
清潔	・体を拭いて、着替えを行います	・シャワーに入れます（抜糸するまでは、傷が濡れないように防水テープを張ります） （1人で入れる場合は月～土曜日シャワーに入れます） （1人で入れない場合は火・金曜日の介助シャワー浴となります）  	
排泄	・尿の管を抜き、トイレへ行く練習を行います ・車椅子に乗車できればトイレに行けます（夜間トイレの心配な方は、お知らせください）	・トイレに行く練習をします 	
目標	・痛みをコントロールしながらリハビリを行きましょう ・転んだりせず、安全に入院生活を送りましょう ・痛みや辛い症状があればスタッフに伝えましょう 		